

令和3年度看護学部入学者選抜試験について

令和2年6月29日
沖縄県立看護大学
学長 嘉手苺英子

令和3年度看護学部入学者選抜試験につきましては、平成31年1月にその概要を公表し、また、大学入学共通テストへの英語民間検定試験の導入が延期されたことに伴い、令和元年11月には令和3年度看護学部入学者選抜試験について再度検討を開始する旨を周知させていただいていたところでございます。

この度、学内での検討が終了し入学試験実施要項の概要を決定いたしましたので公表させていただきます。以前周知させていただいた内容から大きく変更いたしましたのは、諸事情により一般選抜において2段階選抜を取りやめたことでございます。

看護系大学への進学を希望されている受験生の皆様におかれましては、本学をその選択肢の一つとしてご検討いただければ幸いに存じます。なお、実施要項の全文は令和2年7月下旬に公表させていただく予定です。

令和3年度看護学部入学者選抜試験の実施要項の概要

令和2年6月26日
沖縄県立看護大学

本学看護学部では、本学の教育理念と目標の実現に向けて、本学のアドミッションポリシーに適合し、学力の3要素を備えた人材を学生として求めています。

沖縄県立看護大学看護学部にて2021年度に入学する方の選抜試験については下記のように実施いたします。

○本学のアドミッションポリシー

1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方
2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身につけた方
3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方
4. 異なる文化に関心を持ち、国際的な視野で看護を学ぶ意欲を持った方
5. 本学の教育方針に従い、規則を遵守し、学業に専念できる方

○学力の3要素

本文書中の学力の3要素とは、中央教育審議会による「新しい時代にふさわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革について(答申)」(高大接続改革答申)での学力の3要素を指します。

1. 基礎的な知識・技能
2. 知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力(思考力・判断力・表現力)
3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)

<募集人員>

一般選抜による55人と特別選抜による25人の計80人

<選抜試験の時期>

特別選抜 令和2年11月21日(土)

一般選抜

前期日程 令和3年2月25日(木)

後期日程 令和3年3月12日(金)

*公立大学協会において個別学力検査の実施日の調整が行われる可能性があることから、一般選抜の実施日程は変更される可能性があります。

<選抜方法>

●特別選抜

島嶼・過疎地域推薦選抜、高校推薦選抜、学士選抜の3種の選抜を行います。なお、3種の選抜の間で併願はできません。

特別選抜の概要

	離島・過疎地域 推薦選抜	高校推薦選抜	学士選抜
選抜人数 (計 25人)	8人	15人	2人
出願資格	次の2条件を満たす者 ・へき地学校級の1～5級を付されている県内の離島あるいは過疎地域の中学校を卒業した者で、中学校を設置している市町村長の推薦を受けた者 ・県内の高校を令和2年度に卒業予定で、高等学校長の推薦を受けた者	・県内の高校を令和2年度に卒業予定で、高等学校長の推薦を受けた者 または ・県内の中学校を卒業し、県外の高校を令和2年度に卒業予定で、高等学校長の推薦を受けた者	次の2条件を満たす者 ・学士などを取得あるいは令和2年度に取得予定の者 ・学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献活動のいずれかにおいて実績を有する者
主な出願書類	・高校からの調査書 ・本人による実績報告書 ・高等学校長の推薦書 ・卒業した中学校を設置している市町村長の推薦書	・高校からの調査書 ・本人による実績報告書 ・高等学校長の推薦書	・学位を証明するもの ・大学などの成績証明書 ・本人による実績報告書 (実績を証明するものを添付)

* 離島・過疎地域推薦選抜あるいは学士選抜で合格者人数が選抜人数を満たさなかった場合は、不足人数を高校推薦選抜に加え、特別選抜全体の合格者人数を25人とします。

1. 離島・過疎地域推薦選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの中の「3. 離島・過疎地域医療を含めた沖縄の看護に関心を持つ方」を特に念頭におき、離島・過疎地域での生活経験を有し看護職を目指す学生を求めます。

1) 選抜人数 8人

2) 出願資格

次のア～エの条件を全て満たす者とします。

ア. 県内の離島にある中学校（#1）あるいは過疎地域の中学校（#2）を卒業した者（該当する中学校のリストを本文書の最後に添付してあります）。

#1 出願者の中学校在学中にへき地教育振興法によりへき地学校の級別である1級～5級が付されていた中学校。

#2 出願者の中学校在学中に過疎地域自立促進特別措置法により過疎地域に指定されていた町村（国頭村、大宜見村、東村、本部町）の中学校。

イ. 令和2年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。1学校あたり2人まで推薦が可能です。

ウ. 卒業した中学校を設置している市町村長の推薦を受けた者。1市町村あたり推薦できる人数の制限はありません。

エ. 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前と入学後の特別教育プログラムを受講することを承諾できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、特に、離島・過疎地域で暮らす人々、その生活や医療に関心を持つことを重視します。
- ・高校の成績が優秀であること。

4) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（30点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・面接評価（70点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、基本的なコミュニケーション能力、学習意欲、看護職者として目指す将来像などを評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校（高等学校）が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己推薦書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、将来展望などについて、離島・過疎地域での生活経験に関連づけて説明したもの。面接評価の資料とします。
- ・卒業見込みの高等学校長からの推薦書：受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの
- ・卒業した中学校を設置している市町村長からの推薦書：面談に基づいた所感及び当該市町村と被推薦者の現在のつながりについて記載されていることが望まれます。
- ・卒業した中学校の卒業証書のコピー

2. 高校推薦選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの中の「2. 幅広く学問を学ぶ能力を持ち、主体的に学習する習慣を身につけた方」を特に念頭におき、高等学校在学中の学業成績などが優秀で、高等学校からの推薦を受けられる学生を求めます。

1) 選抜人数 15人

2) 出願資格

次のア、イの条件を全て満たす者としします。

ア. 令和2年度に沖縄県内の高等学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。または、沖縄県内の中学校を卒業した者で、令和2年度に沖縄県外の高等学校を卒業見込みの者で、在学する学校長の推薦を受けた者。いずれも1学校あたり2人まで推薦が可能です。

イ. 合格した際は入学することを確約でき、本学が実施する入学前の特別教育プログラムを受講することを承諾できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、高校の成績が優秀であること。
- ・社会貢献への意欲と強いリーダーシップを持つことを重視します。

4) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

- ・学校調査書及び実績報告書の評価（70点）：学業成績と課外活動について評価します。
- ・面接評価（30点）：アドミッションポリシーへの適合性のほか、基本的なコミュニケーション能力、社会貢献に対する意欲とリーダー性などを評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：高等学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成し学校が確認したもの。
本学で書式を指定します。
- ・自己推薦書：本学へ入学を希望する理由や看護職を志す理由、社会貢献についての将来展望などを説明したもの。面接評価の資料とします。

- ・卒業見込みの学校長からの推薦書：受験者の学力の3要素に関する能力について記載したもの。
- ・卒業した沖縄県内の中学校の卒業証書のコピー（県外の高校を卒業予定の方のみ）

3. 学士選抜

●設置の理由

本学のアドミッションポリシーの選抜基準「1. 人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲を持った方」を特に念頭におき、他分野にて大学などでの教育を受けかつ何らかの実績を持つ者の中から、看護職として社会に貢献したいという意欲を持つ学生を求めます。また、将来的に保健看護の領域に新たな価値観を導入あるいは創造する可能性のある学生を求めます。

1) 選抜人数 2人

2) 出願資格

次のア～ウの条件を全て満たす者としします。

ア. 次のいずれかに該当する者

- ・大学（短期大学を除く）を卒業した者、または令和3年3月31日までに卒業見込みの者。
- ・大学院を修了し学位を取得した者、または令和3年3月31日までに取得見込みの者。
- ・学位授与機構により学位を取得した者。
- ・外国において学校教育における16年の課程を修了した者、または令和3年3月31日までに修了見込みの者。
- ・専修学校の4年の専門課程を修了して高度専門士の称号を取得した者、または令和3年3月31日までに取得見込みの者。

イ. 学術、文化・芸術、スポーツ、社会貢献活動のいずれかにおいて実績を有する者。

ウ. 合格した際は入学することを確約できる者。

3) 選抜の基準

- ・本学のアドミッションポリシーに適合し、何らかの実績があり、将来的に保健看護の領域に新たな価値観を導入あるいは創造する可能性を持つ人材であることを求めます。したがって、創造性、リーダーシップ、国際性、社会貢献に対する意欲などを重視します。

4) 選抜方法

選抜基準を満たす者という観点から下記に基づく選抜を行います。

・書類による実績評価（70点）

実績についての報告書

保健看護分野・社会への貢献についての展望を記載した自己推薦書

学士などを授与された大学などの成績証明書

・面接評価（30点）

実績や看護職観、将来展望などについてプレゼンテーションおよび質疑応答を行い、

説明能力やコミュニケーション能力、保健看護分野への貢献が期待できる資質などを評価します。

5) 主な出願書類

- ・実績報告書：実績について説明し、これが確認できる公的な文書あるいはそれに準ずる文書を付したのもの。
- ・自己推薦書：自身の長所や保健看護分野での有用性、卒業後の計画など、保健看護分野への貢献について記載したもの。
- ・学位及び大学などでの成績を証明する文書
- ・人物について照会可能な方2人の連絡先と受験者との関係

●一般選抜

1) 選抜人数 前期日程 50人、後期日程 5人

2) 出願資格

次のア、イの条件を全て満たす者とします。

ア. 下記のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者あるいは令和3年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者あるいは令和3年3月に修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（従前の大学入学資格検定を含む）に合格した者及び令和3年3月31日までに合格見込みの者

イ. 令和3年度の「大学入学共通テスト」において、本学が選抜に利用する教科・科目を受験した者

3) 選抜の基準

・本学のアドミッションポリシーに適合し、本学で看護学を学んでいく上での適性を備え、卒業後に看護職者としての活躍が期待できる資質を持つ者を選抜します。

4) 選抜方法

本学が実施する試験により選抜します。この際「大学入学共通テスト」の成績を評価に利用します。選抜試験の内容と配点は以下のとおりです。

	評価方法	配点	総合点	評価内容
前期日程	「大学入学共通テスト」の成績に基づく基礎的学力の評価（#3）	1000点	1150点	学力の3要素の中の基礎的知識の修得状況について評価する。
	小論文	100点		学力の3要素の中の主に思考力、判断力、表現力について評価する。
後期日程	実績評価（学校調査書・実績報告書）	50点		学力の3要素の中の主に主体性、協働性について評価する。
	個別面接	配点はしない		本学学生としての適性について、上記の学力試験では測れない要素を評価する。

3 「大学入学共通テスト」の成績に基づく基礎的学力の評価

「大学入学共通テスト」の利用教科・科目・配点は以下のとおりです。

教科名	科目名	配点	備考
国語	『国語』	250点	マークシート試験 200点満点を250点満点に換算
外国語（英語）	「大学入学共通テスト」の『英語』	250点	・リーディング試験 100点満点を1.5倍にして150点満点 ・リスニング試験 100点満点 これらを合わせて計250点満点
地理歴史・公民	全科目の中から1科目受験	100点	全科目の中から1科目受験
数学	・「数学Ⅰ」 または、 ・『数学Ⅰ・数学A』	200点	総点を100点満点に換算し、これを2倍にして200点満点
理科	・「生物」1科目 または ・「生物基礎」（必須） 及び 「物理基礎」「化学基礎」「地学基礎」から1科目選択	200点	・「生物」は100点満点 または ・「生物基礎」と選択1科目についてはそれぞれ50点を配点して合わせて100点満点 これを2倍にして200点満点
<p>・本学が利用する教科・科目や利用方法については、全国の実施状況を参考に、2022年度以降の入学試験から変更する場合があります。</p>			

- ・小論文
提示する課題について記述する試験を行います。記載内容に反映される論理的思考力や判断力、日本語での表現力を評価します。
- ・実績評価
学校調査書では高校3年間の学業成績と出席状況について評価します。実績報告書では学業以外の活動実績について評価します。なお、社会人経験者や高校を卒業してから長期間経過している受験者に対しては、高校を卒業してからの活動について、実績報告書の中で記載していただきます。
- ・個別面接
コミュニケーション能力や学ぶ意欲など、看護職者になるために本学の学生として学修を行っていく上での適性について評価します。

5) 主な出願書類

- ・学校調査書：学校が作成したもの。
- ・実績報告書：課外活動などの実績について本人が作成したもの（高校卒業予定者については本人が作成し学校が確認したもの）。本学で書式を指定します。実績を証明する資料の提出を求める場合があります。

(別紙)

離島・過疎地域推薦選抜の出願資格に該当する離島・過疎地域の公立中学校一覧
(P3. 1-2)-ア)

市町村	中学校	住所
国頭村	国頭	国頭村字辺土名1463
大宜味村	大宜見	大宜味村字塩屋1306-6
東村	(併)東	東村字川田837
本部町	(併)上本部	本部町字北里573
	本部	本部町字渡久地231-1
	(併)伊豆見	本部町字伊豆味13
	(併)水納	本部町字瀬底6260
伊江村	伊江	伊江村字西江前1
伊平屋村	伊平屋	伊平屋村字我喜屋241
	(併)野甫	伊平屋村字野甫401
伊是名村	伊是名	伊是名村字仲田1344
うるま市	(併)津堅	うるま市勝連津堅1327-2
久米島町	久米島西	久米島町字西銘1324
	球美	久米島町字比嘉2856
南大東村	(併)南大東	南大東村字池之沢317
北大東村	(併)北大東	北大東村字中野181
南城市	(併)久高	南城市知念字久高46
渡嘉敷村	(併)渡嘉敷	渡嘉敷村字渡嘉敷355
座間味村	(併)座間味	座間味村字座間味943
	(併)阿嘉	座間味村字阿嘉316
	(併)慶留間	座間味村字慶留間82
粟国村	(併)粟国	粟国村字東447
渡名喜村	(併)渡名喜	渡名喜村639
宮古島市	平良	宮古島市平良字西里724
	北	宮古島市平良字西仲宗根500
	久松	宮古島市平良字久貝932
	鏡原	宮古島市平良字下里3107-3
	西辺	宮古島市平良字西原1138
	狩俣	宮古島市平良字狩俣4337
	(併)池間	宮古島市平良字池間903
	西城	宮古島市城辺字西里添1080
	城辺	宮古島市城辺字福里616
	砂川	宮古島市城辺字砂川599
	下地	宮古島市下地字洲鎌250
	上野	宮古島市上野字新里356-1
	佐良浜	宮古島市伊良部字池間添1720
	伊良部	宮古島市伊良部字国仲418
多良間村	多良間	多良間村字塩川576
石垣市	(併)富野	石垣市字桴海299-45
	(併)川平	石垣市字川平969
	(併)崎枝	石垣市字崎枝530-18
	(併)名蔵	石垣市字名蔵243
	石垣	石垣市字新川307
	石垣第二	石垣市字登野城1078
	大浜	石垣市字大浜103
	白保	石垣市字白保268-35
	伊原間	石垣市字伊原間28
竹富町	(併)竹富	竹富町字竹富545
	(併)黒島	竹富町字黒島1140
	(併)小浜	竹富町字小浜2575
	(併)波照間	竹富町字波照間54
	大原	竹富町字南風見仲29-2
	船浦	竹富町字上原870
	(併)西表	竹富町字西表869
	(併)船浮	竹富町字西表2435
(併)鳩間	竹富町字鳩間588	
与那国町	与那国	与那国町字与那国1049
	久部良	与那国町字与那国4022

(併) …小中併設校